

研究課題番号	3J-2001
研究課題名	廃棄物処理システムの強靱化に貢献する固化式処分システムの社会実装研究
研究実施期間	2020年度～2022年度
研究機関名	九州大学
研究代表者名	島岡 隆行

1. 委員の指摘及び提言概要

固化式処分システムを、民間企業と共同開発されており、社会実装に向けて確実な成果が挙げられていると拝察する。ライフサイクルコストが、水処理経費を低減することで従来方式未満となることもいい方向であると言える。学術的な原著論文文化が可能な成果が挙げられているとみられ、今後の取組みを期待する。設計施工指針案が提案されたことを高く評価したい。研究成果の経済性評価において、LCC が従来の処理法より低くなっており、その要因が水処理コストの節減となっているのは注目される。従来式処分場と比べ、跡地の価値が高くなると思われるので、実装段階では、処分場の跡地利用を念頭に置いた計画が推奨される。

2. 採点結果

評価ランク：S